

令和6年度 第1学年 数学科 年間指導計画・評価計画(年間140時間)

目標	・基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的に解釈したり、表現・処理したりする能力を身につける。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気づいて、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う。
----	---

評価の観点:①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
数学 A				
4 5 6 ◆	25	正の数と負の数	・十、一の符号や正の数、負の数の必要性和意味を理解する。 ・正負の数の加減乗除の計算ができる。 ・正の数と負の数の四則計算の方法を考察し、表現できる。 正の数と負の数 加法と減法 乗法と除法 いろいろな計算	① 正負の数の四則計算をすることができる。 (提出物、テスト) ② 算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 (提出物、テスト) ③ 正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 (授業での取り組み、提出物、テスト)
7 9 ◆ 10	19	文字と式	・文字を用いることの必要性和意味を理解する。 ・文字式における乗法と除法の表し方にしがつて、式を表すことができる。 ・一次式の加法や減法、数の乗法の計算ができる。 ・具体的な場面と関連付けて、一次式の加法と減法の計算方法を考察し、表現することができる。 文字と式 文字式の計算 文字式の利用	① 数量の関係や法則などを、文字を用いた式に表すことができることを理解している。 (提出物、テスト) ② 文字を用いた式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。 (提出物、テスト) ③ 文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。 (授業での取り組み、提出物、テスト)
11 ◆ 12 1	15	1次方程式	・方程式とその解の意味を理解する。 ・具体的な問題を、方程式を利用して解決するときの考え方や手順を理解する。 ・比例式の性質を理解し、具体的な問題を解決したりすることができる。 1次方程式 1次方程式の利用	① 等式の性質の意味を理解し、等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 (提出物、テスト) ② 具体的な場面の問題において、1次方程式を活用し、問題を解決することができる。 (提出物、テスト) ③ 方程式の必要性和意味を考えようとしている。 (授業での取り組み、提出物、テスト)
2◆ 3	5	いろいろな問題	総合的な問題に取り組むことができる。	総合的な問題を解くことができる。 (ワークシート、小テスト、定期考査)
数学 B				
4 5 6 6	18	平面図形	・平行移動、回転移動、対称移動の意味とその性質を理解する。 ・2つの合同な図形の関係移動の見方で捉え、説明することができる。 ・作図における定規とコンパスの役割と使い方を理解し、簡単な作図ができる。 平面図形 作図 円	① 平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 (学習態度、提出物、テスト) ② 図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。 (学習態度、提出物、テスト) ③ 平面図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考えようとしている。 (学習態度、提出物、テスト)
6 ◆ 7 9 ◆ 10	21	空間図形	・角柱や円柱、円錐、球などを、平面図形の移動によってできた立体とみることができる。 ・角柱、円柱、角錐、円錐、球の展開図とその特徴を理解する。体積・表面積を求めることができる。 空間図形 立体の体積と表面積	① 空間における直線や平面の位置関係を理解している。 (学習態度、提出物、テスト) ② 空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。 (学習態度、提出物、テスト) ③ 空間図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考えようとしている。 (学習態度、提出物、テスト)
10 11 ◆ 12	20	比例と反比例	・関数の意味及び変域の意味と表し方を理解する。また、2つの数量の間に関数の関係があるかどうかを判断することができる。 ・比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。 ・座標の意味や点の位置の表し方を理解する。 ・比例・反比例のグラフの特徴を理解する。 比例 反比例 比例と反比例の利用	① 比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。 (学習態度、提出物、テスト) ② 比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフなどを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 (学習態度、提出物、テスト) ③ 関数関係の意味や比例、反比例について考えようとしている。 (学習態度、提出物、テスト)

数学 B			
1 2 ◆	13	データの活用 ・データを度数分布表やヒストグラムに表し、分布の特徴を読み取り、説明することができる。 ・相対度数の必要性和意味を理解する。 ・不確定な事象の起こりやすさを、その事象の起こる割合や試行の回数に着目して考え、説明することができる。 データの整理とその活用 確率	① ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。 (学習態度、提出物、テスト) ② 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 (学習態度、提出物、テスト) ③ ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり、多面的に捉え考えようとしてしている。 (学習態度、提出物、テスト)
3	4	いろいろな問題	総合的な問題に取り組むことができる。 総合的な問題を解くことができる。 (ノート、小テスト、定期考査)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などの基礎的な概念や原理について理解している。 事象を数学的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりしている。 図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直感的にとらえ論理的に考察している。 数量の変化や対応に着目して関数関係を見出し、その特徴を表、式、グラフなどで考察している。 データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づいて粘り強く考えている。 数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたり、多面的に捉え考えようとしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み 提出物(ワーク、プリント、レポート) テスト(定期考査、小テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み 提出物(ワーク、ノート、プリント、レポート) テスト(定期考査、小テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み 自己評価表 提出物(ワーク、ノート、プリント、レポート) テスト(定期考査、小テスト)

学習のアドバイス

(1)授業への取り組み

積極的に発言したり、問題と向き合ったりと進んで授業に参加する。
分からないところは、自ら友達や先生に質問して解決する。
話を聞くときと問題に取り組むときのメリハリをつける。
友達の意見からも学ぶ姿勢をもつ。
既習事項から新たな性質や考え方を見い出そうとする。

(2)提出物

ワークは計画的に取り組み、丁寧に丸付けを行う。途中式や問題のポイントを書くなど、学習に対する姿勢が見える形で提出してください。間違えた場合はなぜ間違えたのか分析した内容も書くようにする。
ノートは見直ししやすいように書く。板書だけでなく、先生の説明や気付いたことも書き足す。

(3)単元ごとのふりかえり

自己評価表を活用し、自分の課題を把握して改善しようとする。
数学は次につながっていくので、わからないところは聞いたり、調べたりして解決する。
できなかった問題は相談したり、繰り返し取り組んだりすることで自分の力で解けるようにする。